

形下米澤電  
分府設置  
候條此旨告

木高行

七錢歐文ハ

金澤マナノ

井分局ヨリ

七錢歐文ハ

米澤マナノ

金ハ金五十

ナ給ス(一)

疾病ヲ受ケ

傷傷加表

多カラサル

第六項ノ一

金額ヲ給ス

ノ者公務ノ

上ノ切斷ヲ

負傷增加表

多カラサル

キ其窮乏孤

活セル二十

アリテ之ヲ

助料一箇年

給ス。○第

長官ノ申請

以テ之ヲ下

又ハ五年以

扶助料ヲ賜

但懲戒ノ者

業確認ノ者

(業略ス)

正相成候就

心此旨相

山縣有朋

但離形ニ揭ケル事項中變換若クハ増減等有之節ハ本文ノ手續ニ準シ毎年一月卅一日限リ届出ヘシ(離形略ス)  
明治十六年九月二十日 農商務卿西郷從道  
○正誤 昨日ノ紙上太政官第三十七號(別冊ノ末ニ以下次號トアルハ陸軍恩給金額表略ス)ノ誤

叙任賞勳

○明治十六年九月十九日  
特命全權公使陸軍少將從四位勳二等 井田 讓  
任元老院議員  
外務大書記官兼參事院員外官補從五位勳四等 宮本 小一  
任元老院議員  
外務大書記官兼外務 紀實從五位勳四等 田邊 太一  
任元老院議員

時事新

朝鮮政務監理ノ派遣如何

上海申報ハ過日我輩ニ報シテ曰ク直隸總督李鴻章ハ前奏港總領事陳樹棠ヲ朝鮮ニ遣ヘシテ通商事務ヲ監理セシメントセシメ陳氏ハ固ク辭シテ未ダ其命ニ應ゼズト北清日報ハ我輩ニ告ケテ曰ク李氏ハ陳氏ヲ擧ゲテ朝鮮通商大臣兼政務監理ニ任セントセシメ陳氏ハ非才其職ニ堪ヘズトナ苦ニ之ヲ辭シタルハ李氏ハ西太后ニ上リテ旨ヲ陳氏ニ諭キソナク乞ヒタリト右ハ我輩ガ在清新聞ノ報告ヨリ聞キタル所ニシテ時事新報ノ讀者ニ向テハ既ニ其聞キタル儘ニ報シ置ケリ今上海北清ノ二報ヲ見ルニ其旨趣別ニ異ナル所ナシト雖モ申報ハ唯通商事務トノミアリテ日報ハ通商大臣兼政務監理ト明記シタリ是レ二報ノ獨リ逕庭スル所ナリ我輩ハ申報ヲ信セシカ將タ日報ノ旨ニ從ハンカ五百里外ノ來信速ニ其是非ヲ辨スルニ苦メリ左ナキメニ變幻常ナキ支那政府ノ政略ナレバ之ヲ詳ニスルニ唯後報ヲ俟ツノ外ナキナリ我輩今支那通商條約ノ第一條ヲ按スルニ北洋大臣ハ商務委員ヲ朝鮮ニ派遣シ朝鮮官吏ト往來シテ其商務ヲ取扱ハシメ重大ノ事件ニシテ官吏ト評議スルヲ便トセザル者ハ北洋大臣ノ命ヲ待テ朝鮮政府ニ掛合ハシムヘキ旨ヲ掲ケタリ申報ハ所謂通商事務ヲ監理セシメトハ此商務委員ト同様ナルカ誠ハ之ニ類スルノ事務ヲ司トシムルコトニ李氏ハ陳氏ヲ擧ゲテ單ニ此任ニ當ラシメントスル歎我輩ノ所見コト彼ノ商務委員トハ我邦ノ所謂領事即チ「コンシユル」ノ義ト解スルカヲハ支那ノ文字ニ何ト記スモ締盟各國互ニ其貿易場ニ領事ヲ置クノ例ニ戻ラザルノ限リハ我輩敢テ陳テ容レザルナリ又彼ノ日報ニ政務監理トアル其政務ハ朝鮮ニ對スル支那ノ政務ヲ指シタルモノ歟果シテ然ラバ自國ノ政務タル支那實際ノ日常ノ事務ニシテ之ヲ監理辦スルハ前既ニ陳シタル「コンシユル」即チ領事ノ職ナリ尋常ノ領事ナレバ支那若シテ保護スルモ我輩敢テ意ニ介セズト雖モ李氏ガ苦心シテ彼ノ政務監理トアル其ハナク味シ陳氏コ

シ適任ノ人物ナリトテ其固辭スルヲモ顧ミス書キ西太后ニ上リテ之ニ就職ノ旨ヲ諭サソフナクヒ太テ其撰擧ヲ重シスルノ權子アルヲ視レバ所謂政務監理トハ尋常一様ノ領事トシテ支那ノ事務ヲ監督理辦スルモノニ非ヤルガ如シ然ラバ則チ彼ノ政務トハ朝鮮ノ政務ヲ指シタルモノ歟果シテ然ラバ之ヲ監理スルトハ朝鮮政府方權ノ政務總監統理スルコトニシテ此任ニ當ルモノハ唯宰相アルノミナリナレバ政務監理トハ宰相ノ別名ニシテ支那若シテ派遣スレバ朝鮮新ニ宰相ヲ生スルノ姿ナリ朝鮮ハ隣國ヨリ新宰相ノ來ルヲ見テ果シテ如何ノ處置ヲナスヤ苟モ獨立ノ體面ヲ全ウセント欲セバ斷然之ヲ斥ケテ其干涉ヲ拒絕スルコトナラン若シ又之ヲ拒ムコト能ハズ任ケテ支那ノ意ニ從ヒ其監理ヲ仰クコトモアラバ我輩日本人モ亦自カテ其覺悟ナキテ得ズ抑モ明治九年我特命全權辦理大臣ノ一行ガ判中樞府事申渡、都總府副總管尹滋承ト兩國ノ名義ヲ以テ議定シタル條約ニハ朝鮮ハ自主ノ邦ナリト明記シ本年五月米國特派全權公使「フー」氏ガ其批准ヲ交換シタル米韓條約ニモ亦之ヲ獨立國ト認メタリ左レバ今日朝鮮國ニ條約ヲ結ビタルモノハ日本ト米國ト支那ト三ヶ國ニシテ條約面ヨリ見レバ此三國ノ間ニ毫釐ノ輕重アル可ラズ故ニ支那ガ朝鮮ノ爲ニ政務監理ヲ命シテ之ヲ轄廷ニ派遣スルノ權アレバ日本モ亦同様ノ權ヲ有シ米國亦同様ニシテ朝鮮ノ政府ニ向ヒ自國ノ一官吏ヲ以テ其宰相ニ任センコトヲ促ス可シ斯ノ如キハ則チ一國ノ政府ニ他國ノ宰相ヲ入レテ政ヲ任スルモノニ異ナラズ人間世界ノ政治上ニ行ヘル可キ事柄ニ非ス或ハ支那ノ自大妄慢ナル實今日ニ至ルマデモ朝鮮爲中國所屬之邦ノ殘夢ヲ貪リテ世界ノ公評ニ明ニスル能ハザルモ獨リ朝鮮國ニ向テノニ其驕傲ヲ逞ウシテ朝鮮モ亦任ケテ之ニ服從シ支那ノ脅迫ハ之ヲ拒ムコト由ナシト雖モ日本ト米國ト與ニ支那同様ノ事ヲ行ハントスルガ如キハ敢テ之ヲ辭セシムルコト意ナレモ亦計ル可ラズ斯ル場合ニ於テハ我々ハ支那ト朝鮮トノ内情ヲ同フコト遠アラズ我輩日本人及ヒ米國人ハ公然タル同等國ノ資格ヲ以テ朝鮮ノ政府ニ向ヒ締盟國ニ交ルコト同等ノ禮ヲ以テス再シテ約シナガテ其締盟國ノ中獨リ支那ニ厚ウシテ日米ヲ薄ウスルハ如何ト其理由ヲ正カマルヲ得ズ是時ニ當テ朝鮮政府ハ何等ノ返答ヲナス可キヤ是迄我々ニ對シテ獨立ノ顔色ヲ放ヒナガラ今日ニ至リ支那ヲ待ツノ禮ヲ以テ我々ヲ待ツコト能ハザレハ當ニ我々ノ面目ヲ汚スノミナラズ少シク官業ヲ嚴ニスレバ幸。我々ヲ賈シタルノ意味ナキヲ得ズ尙何ノ辭アリテカ之ヲ分統スルコトヲ得ンヤ若シ又朝鮮政府ニ我々日本人及ヒ米國人ニ告グルニ其事實ヲ以テ朝鮮國ヨリ等類ヲ入レテ之ニ政ヲ任スルハ決テ弊弊ノ意ニ非ズト雖モ支那ノ脅迫之ヲ拒

雜報

○秋季皇靈祭 明後二十三日秋季皇靈祭御執行の次第七承へるに同日午前八時 聖上には宮中賢所へ御參拜の上御親祭を執り行はせられ次は 皇后宮にも同所御參拜のり右竟るの後同九時四十分より親王大臣參議各應勤任官并に群香間祇候の方々順次參拜午後一時より同三時迄ハ各委任官及神宮委任以上敷導職六級以上有位華族等の方々にも參拜を仰付らるゝ由あり尤賢所參拜の建筋等の總て本年四月神武天皇御例祭の節の如くあり  
○參内 我國駐在米國公使ヒョカム氏には此程渡來せよ同國海軍少將クロスピー氏及同公使館附書記官某氏同伴にて來る二十五日午後一時赤阪飯屋居へ參内の上聖上へ内謁見を仰付らるゝよし聞く  
○アルベルト殿下 會て野州日光山遊覽と去て赴かれ去アルベルト殿下の一行は一昨十九日午後四時歸京直ち芝三田の旅館へ着されたり  
○寺嶋公使 米國華盛頓府駐在寺嶋全權公使にハ嚴厲書記生を伴ひ十月十一日桑港發の郵船に乘組み歸朝する旨其筋ハ電報ありたるよし  
○井上參議 同參議ハ家族婢僕等十名を引連れ昨日午前六時上野發の漏車にて上州伊香保温泉へ赴きたり或は云々同參議令聞の里方ある新田家が此頃華族ハ列せられたるに付途次同家ニ立寄り家産を取纏むるからんとの噂あり  
○新任議官年俸 本日の叙任欄内ある如く一昨日元老院議官に任せられたる井田宮本田邊諸氏の年俸は四千圓(井田)三千五百圓(宮本)三千圓(田邊)宛下賜せらるゝ旨仰渡されたり  
○參議隨行 伊藤參議ハ福島縣下巡廻并隨行の事ハ前號の紙上に記載せしが尙又奈良原農商務大書記官及大政官屬官一名農商務官屬官一名も隨行を命ぜられ急昨廿日午前八時上野停車場發の漏車にて出發しり  
○疏水部長 農商務大書記官奈良原若ハ昨日福島縣下へ出發したるに付同補少書記官南都則若ハ疏水部長の事務を代理する由  
○歸京 義に北海道へ出張せし古澤内務少書記官は去る十七日、横村巡察使も隨行せし四山工務部少書記官も去る十八日、大藏省租稅勘合出張所長齋藤清也も去る十八日何れも歸京せり  
○トノメタル氏 農商務省所屬農事課長齋藤清也入歐